

■日本水道協会全国会議に出席しました！

1 全国会議の概要

この会議は、全国の水道関係者が産学公の垣根を越えて一堂に会し、水道が直面する諸課題の解決に向けて「総会」「水道研究発表会」「シンポジウム」などを行う、水道界最大の会議です。

○開催日： 令和5年10月18日（水）～20日（金）

○場 所： 東京ビッグサイト

○参加者： 全国の水道事業体関係者、学識経験者 等 約3,000名

2 村井知事と小池都知事の特別対談

会議初日には、日本水道協会会長を務める小池都知事と村井知事が対談しました。

対談では、①災害に強い強靱な都市・まちづくり、②水道事業経営、③水道事業体間の連携などについて意見が交わされました。小池都知事からは、水道管路を強靱化するハード面の取組のほか、防災イベント企画やデジタル技術活用による住民への啓発・情報発信の取組について、村井知事からは東日本大震災の教訓や、宮城県上工下水一体官民連携運営事業（みやぎ型管理運営方式）について、それぞれ紹介されました。

○全国会議開会式



○特別対談の様子



3 水道イノベーション賞特別賞を受賞！

水道イノベーション賞は、日本水道協会会長表彰の一つで、平成26年度に設置されました。

水道事業を取り巻く環境が厳しさを増す中、様々な工夫により課題の克服に取り組んでいる会員を表彰し、取組事例を紹介するとともに、その功績を讃えることにより、日本の水道界が新たな取組に着手する気運を高めることが、設置の目的とされています。

今年度は24団体からの応募があり、このうち、宮城県企業局が取り組んだ「宮城県上工下水一体官民連携運営事業（みやぎ型管理運営方式）の導入」が特別賞を受賞しました！

○水道イノベーション賞 授与式の様子



■水道料金の改定について

1 水道料金改定の背景

宮城県企業局では、大崎広域水道事業（10市町村へ供給）と仙南・仙塩広域水道事業（17市町へ供給）の2事業について、受水市町村から頂いた料金をもとに経営しています。

料金は概ね5年ごとに見直しており、現行料金の期間は令和2年度から令和6年度までの5年間となっています。一方、受水市町村からの「みやぎ型管理運営方式の導入効果を少しでも早く料金に反映してほしい」という要望を踏まえ、令和7年度からを予定していた次期料金期間を1年前倒し、令和6年度からとするため、令和5年9月定例会に料金改定に係る条例を提出し、議決されました。

2 料金改定

○大崎広域水道事業（単位：円/m³、税抜）

	現行料金 (R2~R5)	改定料金 (R6~R10)	比較増減
基本料金	496	485	▲11
使用料金	91	89	▲2
供給単価※	124.0	122.4	▲1.6

※5年間の給水収益を有収水量で割った目安の単価

○仙南・仙塩広域水道事業（単位：円/m³、税抜）

	現行料金 (R2~R5)	改定料金 (R6~R10)	比較増減
基本料金	817	799	▲18
使用料金	42	41	▲1
供給単価※	126.1	119.1	▲7.0

※5年間の給水収益を有収水量で割った目安の単価

■流域下水道維持管理負担金の単価改定について

1 単価改定の背景

宮城県企業局では、仙塩流域など7つの流域下水道事業について、流域市町村からの維持管理負担金をもとに経営しています。現行単価の期間が令和元年度から令和5年度までとなっており、令和6年度以降の負担金について単価改定を行うため、令和5年9月定例会に料金改定に係る条例を提出し、議決されました。

なお、令和4年夏以降の急激な物価高騰が現段階で安定していないことから、電力費などの物価上昇分を踏まえて、今回は令和6年度1年間だけの単価改定となります。

2 改定単価

（単位：円/m³、税込）

流域	現行単価 (R1~R5)	改定単価 (R6)	比較増減
仙塩	39.8	44.8	5.0
阿武隈川下流	48.5	57.3	8.8
鳴瀬川	81.1	92.3	11.2
吉田川	47.8	58.6	10.8
北上川下流	80.3	91.2	10.9
北上川下流東部	125.8	147.7	21.9
迫川	132.7	147.3	14.6

■みずむすびフェス2023 開催報告

1 開催報告

昨年度に引き続き、水道や下水道をより知っていただくため、地域の皆様に浄化センターを開放するイベント、みずむすびフェス（愛称「みずフェス」）が3箇所で開催され、想定を大きく超える来場者数（合計約3,000名）で大盛況でした。

会場	県南浄化センター	仙塩浄化センター	大和浄化センター
日時	令和5年9月9日（土） 午前10時～午後3時	令和5年9月23日（土） 午前10時～午後3時	令和5年10月14日（土） 午前10時～午後3時
来場者数	約1,000名	約1,200名	約800名
主催	株式会社みずむすびマネジメントみやぎ、株式会社みずむすびサービスみやぎ		
後援	宮城県企業局等		

小さなお子様も一緒に楽しめるショー、高所作業車体験、浄化センターの内部に潜入する見学ツアーなどの催しがあり、皆様に楽しんでいただける「みずフェス」となりました。ご来場ありがとうございました。

2 会場の様子

○県南浄化センター

会場入口



ステージイベント



○仙塩浄化センター

高所作業車体験



ボルルン（下水道 PR キャラクター）



○大和浄化センター

見学ツアーの様子



■インターンシップ実習生受け入れについて

1 概要

技術系（機械・電気）職種に関するインターンシップ事業の現場実習として、機械職や電気職の職員が多く在籍する企業局でインターンシップ実習生5名を受け入れました。

中南部下水道事務所（仙塩浄化センター）では、下水処理の仕組みや業務内容、事業概要のほか、施設管理や運営における「みやぎ型管理運営方式」の運営事業者（運営権者）との関係、災害時の対応などの説明を行ったのち、浄化センターの水処理施設を視察しました。

仙南・仙塩広域水道事務所工業用水道管理事務所（大槻浄水場）では、事業概要や設備職員（機械職・電気職）の業務内容、事故・災害発生時の対応などの説明を行ったのち、浄水場の中央監視室などを視察しました。

実習生の皆さんからは、「設備職員の仕事内容や役割などを学ぶ良い機会となった」などの感想をいただき、今回の経験が、参加者の皆様の職業選択の幅を広げる機会になったものと感じました。

2 現場実習

参加者：インターンシップ実習生（大学3年生4名、専門学校1年生1名）

○中南部下水道事務所

日時：令和5年9月6日（水）午前10時30分～正午

場所：仙塩浄化センター

内容：下水処理について

流域下水道事業の概要と施設の管理・運営について
現場視察（水処理施設など）

【現場視察の様子】



○仙南・仙塩広域水道事務所 工業用水道管理事務所

日時：令和5年9月6日（水）午後1時30分～午後2時45分

場所：大槻浄水場

内容：工業用水道事業の概要について

設備職員の仕事について
現場視察（中央監視室、水質試験室など）

【概要説明の様子】



3 参考（カリキュラム）

1日目：（設備課・管財課等）座学・現場研修

2日目：（ダム事務所）座学・現場研修

3日目：（企業局）座学・現場研修

【第36号編集担当・お問い合わせ先】

公営事業課総務班（事務局）

電話：022-211-3413

E-mail：kigy@pref.miyagi.lg.jp

【企業局の情報はこちら】

【メビウスのバックナンバーはこちら】

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/16.html>

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kigy/mebiusu-alchive.html>